



2026 年 8 月 25 日

アーバンエナジー株式会社

**JFE スチール株式会社東日本製鉄所(千葉地区)向け
自家消費型太陽光発電設備 0.6MW を導入
～PPA モデルの導入により、CO₂排出量 296t-CO₂/年を削減～**

アーバンエナジー株式会社（社長:川原 太郎、本社:神奈川県横浜市、以下「アーバンエナジー」）は、JFE スチール株式会社（社長: 広瀬政之、本社:東京都千代田区、以下「JFE スチール」）東日本製鉄所(千葉地区)に、CO₂排出量の削減に向けた取り組みの一環として提供している、太陽光発電 PPA モデル※1 の「ゼロエミプラン® オンサイト型サービス（以下「本サービス」）」を、2026 年 8 月より導入いたします。

本サービスでは、環境省補助金※2 を活用し、アーバンエナジーが JFE スチール千葉地区に自家消費型太陽光発電設備を設置し、発電した電力を JFE スチールが購入します。今回、導入する太陽光発電設備(発電設備出力：614kW)の総発電量(自家消費量)は 700MWh/年を想定し、CO₂ 排出量を 296t -CO₂/年削減できる見込みです。

JFE スチールは、知多製造所にて本サービスを累計 9.0MW 導入しています。今回の導入は、知多製造所に続き、追加性のある再生可能エネルギーの拡大をさらに促進するものです。

アーバンエナジーは今後も、SDGs の達成に向けて再生可能エネルギーの利用拡大を目指すとともに、本サービスの提供により企業の環境経営の推進に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※1 「太陽光発電 PPA モデル」とは、第三者が需要家の敷地や屋根などを借用して太陽光発電システムを設置し、発電した電力を長期にわたり需要家に販売するモデル。需要家は初期投資ゼロで再生可能エネルギー由来の電力を活用することができ、加えて電気料金の削減が期待されます。

※2 令和 6 年度補正「ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業（二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金）」

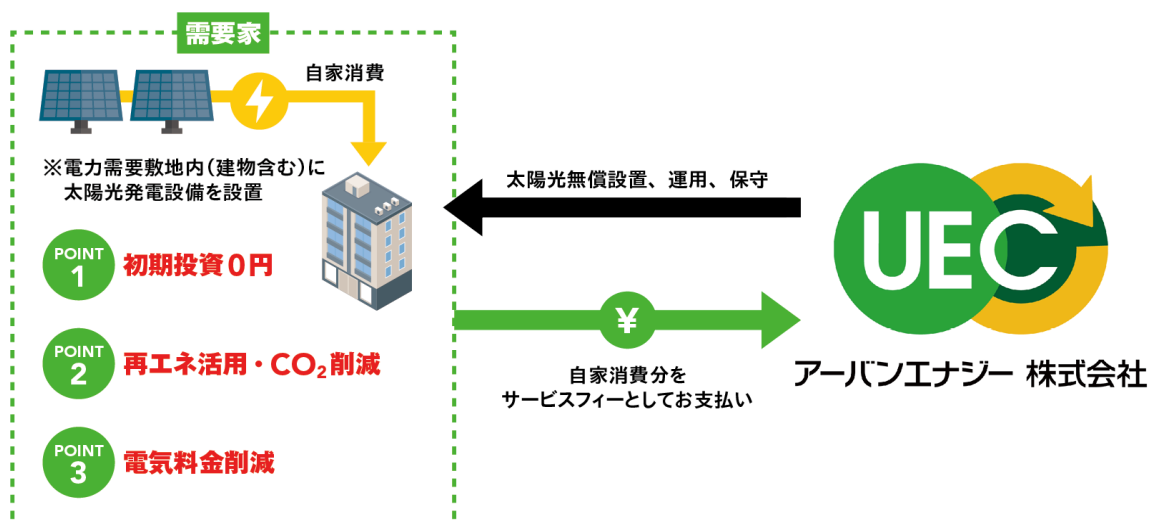
■ 千葉地区 屋上太陽光発電設備

設備概要

発電出力	614 kW（パネル容量）
総発電量(自家消費量)	700 MWh/年
CO ₂ 削減量	296 t-CO ₂ /年



■ ゼロエミプラン® オンサイト型サービスのイメージ



本件に関するお問い合わせは下記をお願いいたします。

アーバンエナジー株式会社 Tel045-505-7878